

岡山県感染症週報

2011 年 第 24 週（ 6 月 13 日～ 6 月 19 日）

◆2011 年 第 24 週（ 6/13～ 6/19 ）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

第 23 週 2 類感染症 結核 4 名（70 代 男 1 名、女 1 名、80 代 女 2 名）
の追加報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○手足口病は今週も大幅に増加し、県内全域に流行が広がっています。

岡山県は注意喚起を行い、感染防止と早めの受診を呼びかけています。

○ヘルパンギーナが今週も増加しました。

■【速報】第 24 週 腸管出血性大腸菌感染症 1 名（O26 児童 女）

第 25 週 腸管出血性大腸菌感染症 4 名（O26 幼児 男 1 名、20 代 女 1 名、
30 代 男 1 名、O157 幼児 男 1 名）の発生がありました。

岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』を発令（6 月 23 日）し、注意を呼びかけています！

■【速報】岡山市内の病院で結核の集団感染がありました（6 月 22 日岡山市プレス発表）

1. **手足口病**の定点あたり患者報告数は、今週も増加しました（7.31 → 9.41 人）。大きな流行が発生または継続しつつあると考えられる感染症発生レベル3 の地域が、備北地域を除く県内全域に広がっています。**手足口病**については、感染症情報センターホームページ『【注意！】手足口病が流行しています！』をご覧ください。
2. **ヘルパンギーナ**の定点あたり患者報告数は今週も増加しました（1.96 → 2.33 人）。
手足口病、ヘルパンギーナの今週の動向については、『今週の注目感染症』をご覧ください。
3. **インフルエンザ**とみられる学級閉鎖が、岡山市で 1 校ありました。
4. **水痘**による学級閉鎖が、岡山市で 1 校ありました。
5. **腸管出血性大腸菌感染症**の発生が増加しており、6 月に入り 10 名の発生がありました。
岡山県では、**腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令**し、感染予防を呼びかけています。
県内の発生状況、症状、感染予防などについては感染症情報センターホームページ『**腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中！**』をご覧ください。なお『全数把握感染症患者発生状況』の表への記載は第 25 週以降になります。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★★
手足口病		★★★★★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★★	流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移：  2 倍以上の減少  1.1～2 倍未満の減少  1.1 未満の増減
 1.1～2 倍未満の増加  2 倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去 5 年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を 5 等分し、流行状況の目安として 5 段階で表示しています。

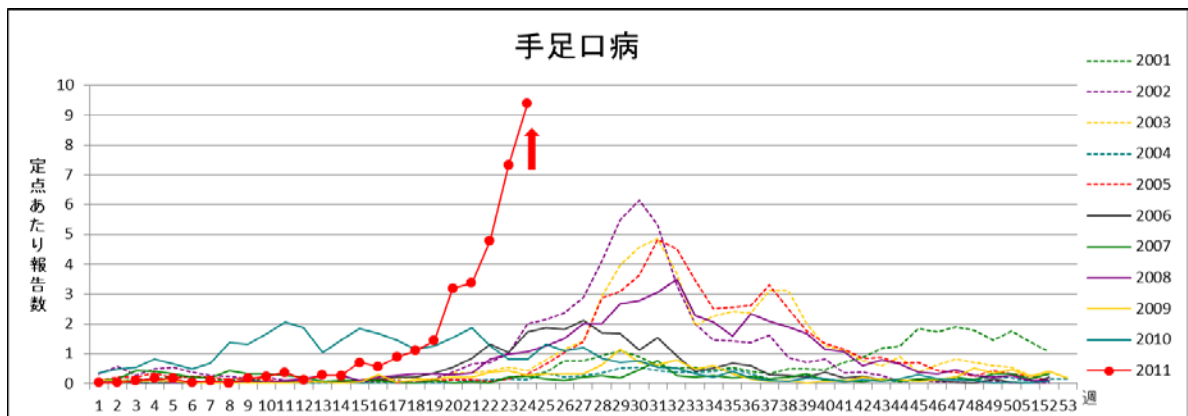
今週の注目感染症

手足口病の定点あたり患者報告数は、先週よりさらに増加しました（395 → 508 人 定点あたり 7.31 → 9.41 人）。今回の流行は、岡山県でデータが残っている 1988 年以降で、一番発生の多かった 1995 年第 29 週の 8.61 人を上まわりました。また、第 24 週の発生としては 1998 年の 3.53 人を大きく上まわっており、最も早い時期からの発生であり最も多い患者数になっています。

定点あたり患者数は、岡山市（5.50 → 11.29 人）、倉敷市（12.55 → 13.55 人）、備前地域（5.30 → 6.20 人）備中地域（2.29 → 5.29 人）、備北地域（1.25 → 4.00 人）、真庭地域（14.00 → 9.00 人）、美作地域（13.00 → 11.33 人）と県内全域で患者数の多い状態が続いています。備北地域以外の地域では、大きな流行が発生または継続しつつあると考えられるレベル 3 が継続しています。

患者は 3 歳以下に多く見られますが、今週は学童の発生も増えています。手洗いを励行し、感染予防に努めて下さい。

症状、感染予防など詳しいことについては、感染症情報センターホームページ『**注意！手足口病が流行しています！**』をご覧ください。



岡山県地区別 感染症マップ 手足口病 2011 年 24 週

24 週 6/13～6/19 23 週 6/6 ～ 6/12 22 週 5/30～ 6/5 21 週 5/23～ 5/29



手足口病

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
5	2		0 < 5 未満	0

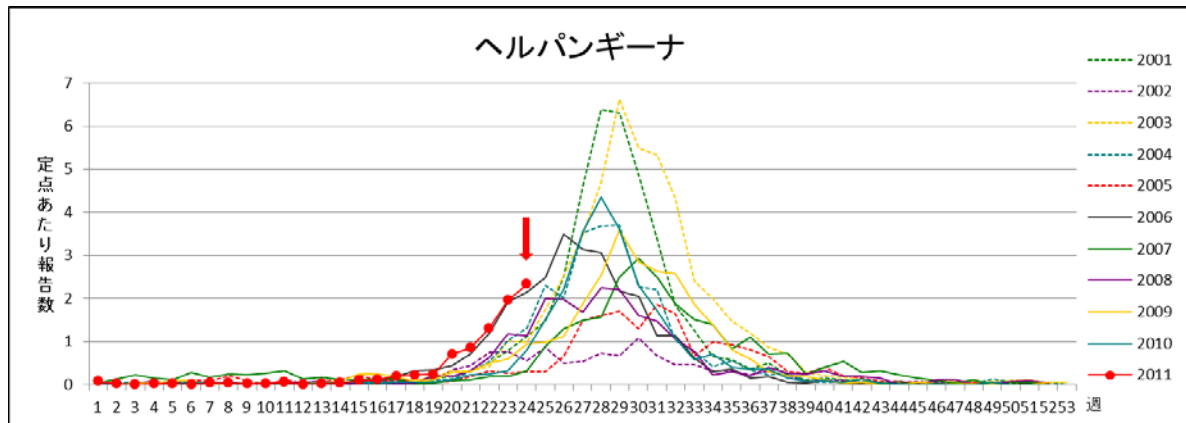
レベル 3 の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないと レベル 3 が継続されます

ヘルパンギーナの定点あたり患者報告数が増え（106 → 126 人 定点あたり 1.96 → 2.33 人）、岡山市（2.79 → 3.21 人）、倉敷市（2.55 → 2.91 人）、備中地域（0.43 → 1.29 人）で発生が増えました。過去 10 年の同時期（第 24 週）の発生を比べると、2006 年の 2.15 人を抜いて、今年は早い時期から患者の増加が見られます。

ヘルパンギーナは夏に流行する幼児の急性ウイルス性咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。例年、7 月中旬に流行のピークがみられ、今後さらに発生の増加が考えられます。

患者の年齢は 3 歳以下がほとんどですが、先週全体の 3% だった学童の患者数が、今週は 12% に増えていますので、年齢の高いお子さんでも注意が必要です。

症状は、突然の発熱につづいて咽頭痛が出現し、口腔内に直径 1 ～ 2 mm の小水疱が出現するのが特徴です。



ひきつづき、夏に流行が見られる感染症の発生が増えています。保育園、幼稚園などでは集団発生する可能性もあります。

いずれの感染症も通常予後は良好ですが、口腔内の小水疱が破れて痛みを伴うため、食べ物や水分の摂取ができにくくなり、脱水症につながる場合がありますので注意が必要です。

体調を崩しやすい時期です。お子さんの体調の変化に注意して、早めに医療機関を受診しましょう。

保健所別報告患者数 において 数字 は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています

保健所別報告患者数 2011年 24週 (2011/06/13～2011/06/19)

2011年6月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	2	0.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	15	0.28	8	0.57	2	0.18	—	—	2	0.29	1	0.25	—	—	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	0.81	16	1.14	18	1.64	—	—	3	0.43	—	—	2	1.00	5	0.83
感染性胃腸炎	249	4.61	52	3.71	30	2.73	73	7.30	19	2.71	19	4.75	18	9.00	38	6.33
水痘	70	1.30	23	1.64	6	0.55	19	1.90	2	0.29	1	0.25	7	3.50	12	2.00
手足口病	508	9.41	158	11.29	149	13.55	62	6.20	37	5.29	16	4.00	18	9.00	68	11.33
伝染性紅斑	10	0.19	2	0.14	1	0.09	2	0.20	—	—	—	—	2	1.00	3	0.50
突発性発疹	34	0.63	17	1.21	8	0.73	—	—	5	0.71	1	0.25	1	0.50	2	0.33
百日咳	1	0.02	—	—	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	126	2.33	45	3.21	32	2.91	15	1.50	9	1.29	1	0.25	2	1.00	22	3.67
流行性耳下腺炎	75	1.39	12	0.86	34	3.09	15	1.50	9	1.29	—	—	1	0.50	4	0.67
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	6	0.50	2	0.40	2	0.50	1	1.00	1	1.00	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	—	—	2	2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 24週 (2011/06/13～2011/06/19)

2011年6月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	2	0.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	15	0.28	8	0.57	2	0.18	—	—	2	0.29	1	0.25	—	—	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	0.81	16	1.14	18	1.64	—	—	3	0.43	—	—	2	1.00	5	0.83
感染性胃腸炎	249	4.61	52	3.71	30	2.73	73	7.30	19	2.71	19	4.75	18	9.00	38	6.33
水痘	70	1.30	23	1.64	6	0.55	19	1.90	2	0.29	1	0.25	7	3.50	12	2.00
手足口病	508	9.41	158	11.29	149	13.55	62	6.20	37	5.29	16	4.00	18	9.00	68	11.33
伝染性紅斑	10	0.19	2	0.14	1	0.09	2	0.20	—	—	—	—	2	1.00	3	0.50
百日咳	1	0.02	—	—	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	126	2.33	45	3.21	32	2.91	15	1.50	9	1.29	1	0.25	2	1.00	22	3.67
流行性耳下腺炎	75	1.39	12	0.86	34	3.09	15	1.50	9	1.29	—	—	1	0.50	4	0.67
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	6	0.50	2	0.40	2	0.50	1	1.00	1	1.00	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第24週 2011/06/13～2011/06/19)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計		-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	15	-	4	3	1	1	1	1	3	2	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	-	1	-	4	6	6	6	7	4	8	3	2	2	-	1
感染性胃腸炎	249	5	22	35	20	20	19	21	12	11	14	11	26	10	23	
水痘	70	2	4	16	4	15	6	10	5	-	3	2	2	-	1	
手足口病	508	4	66	156	115	59	39	24	18	9	5	8	4	-	1	
伝染性紅斑	10	-	-	1	1	-	-	3	1	4	-	-	-	-	-	
突発性発疹	34	1	17	15	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
ヘルパンギーナ	126	-	12	35	23	14	14	8	5	6	3	3	3	-	-	
流行性耳下腺炎	75	-	-	1	8	13	11	12	10	9	1	3	3	-	4	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

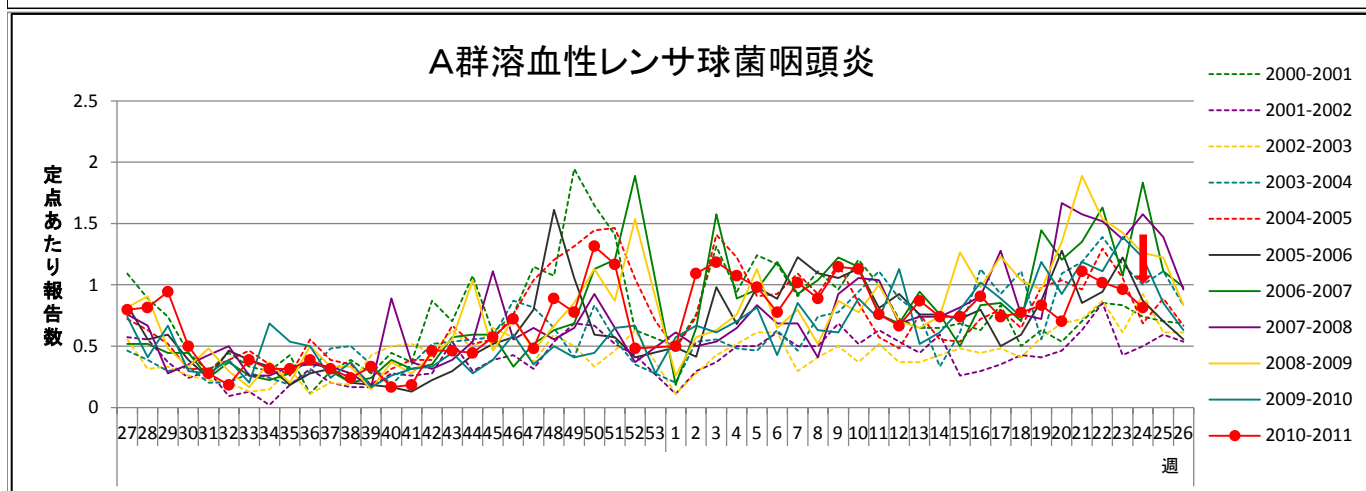
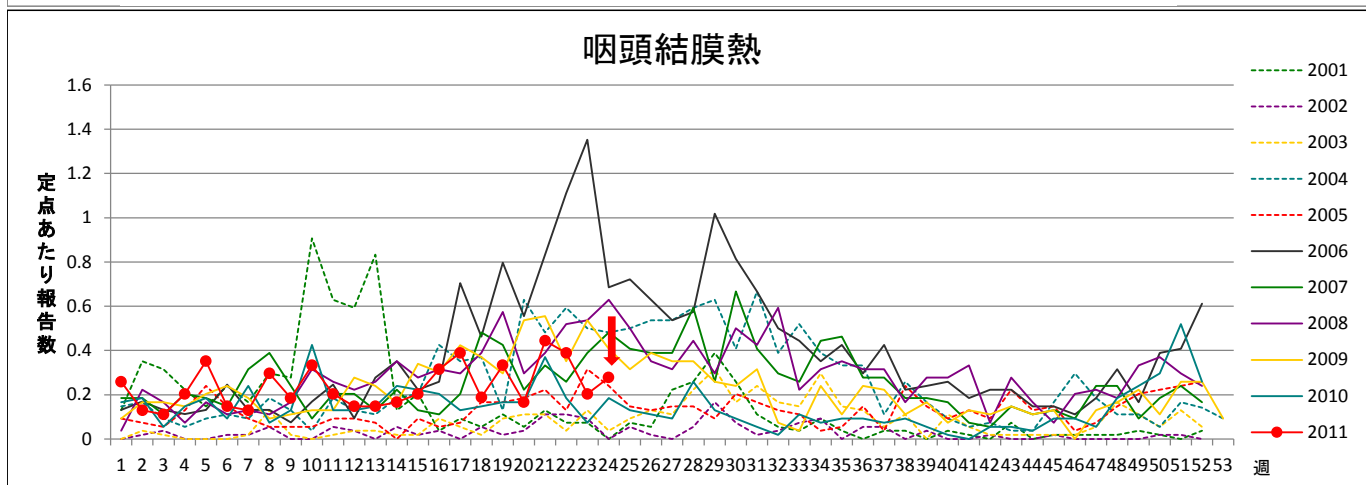
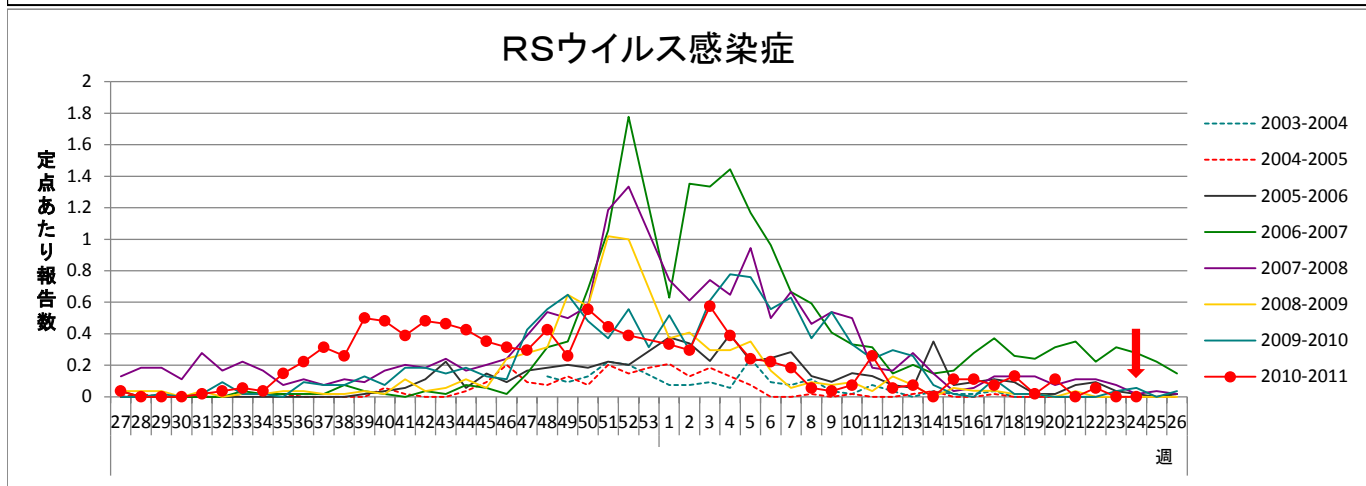
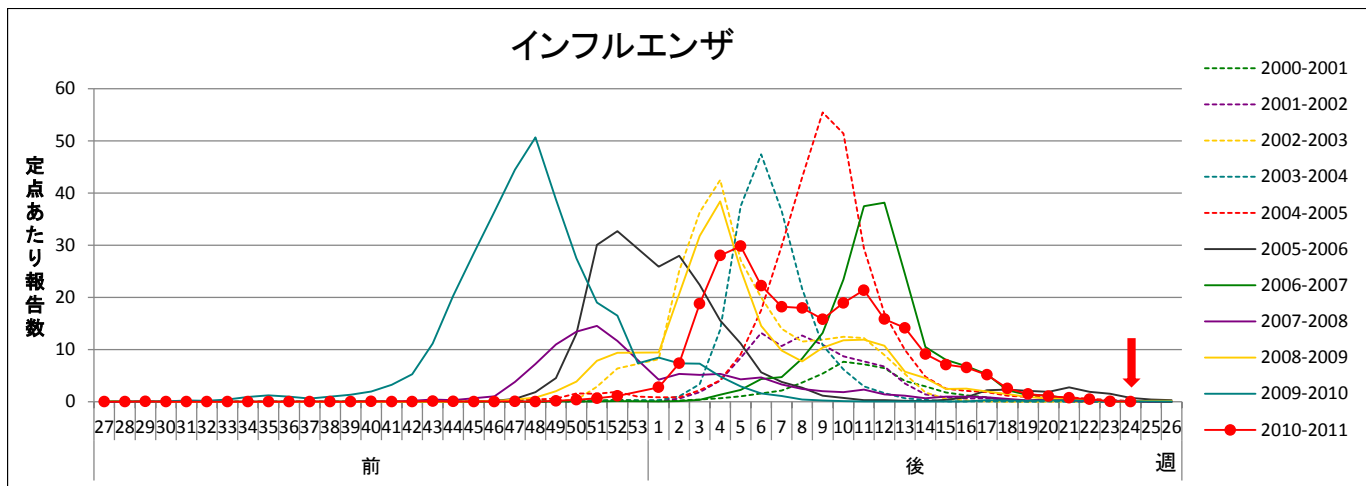
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

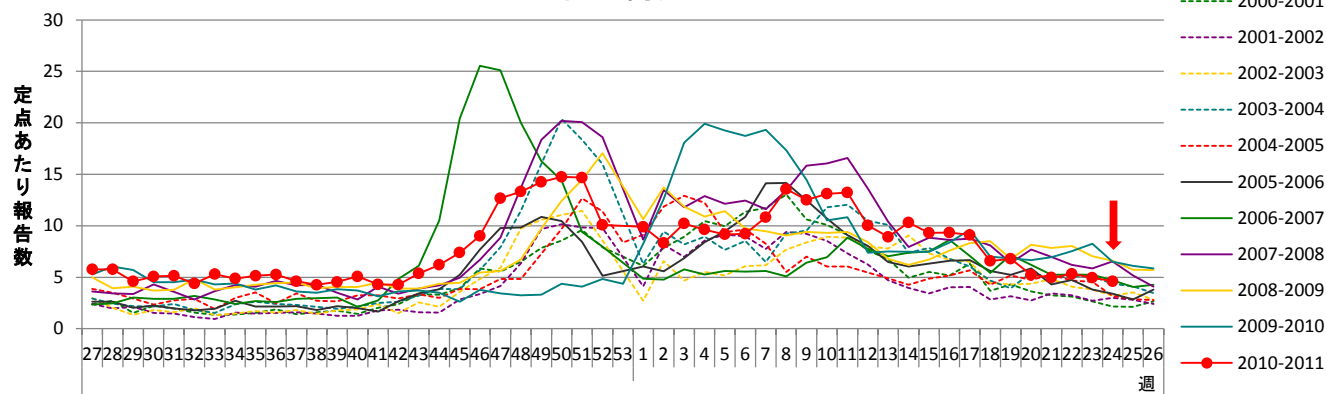
2011 年 24 週

分類	疾病名	2011			2010	2011			2010	2011			2010
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年	
一類	エボラ出血熱	－	－	－	クリミア・コンゴ出血熱 ペスト	－	－	－	痘そう マールブルグ病	－	－	－	
	南米出血熱	－	－	－		－	－	－		－	－	－	
	ラッサ熱	－	－	－		－	－	－		－	－	－	
二類	急性灰白髄炎	－	－	－	結核 鳥インフルエンザ(H5N1)	－	161	353	ジフテリア	－	－	－	
	重症急性呼吸器症候群	－	－	－		－	－	－		－	－	－	
三類	コレラ	－	－	－	細菌性赤痢 パラチフス	－	－	－	腸管出血性大腸菌感染症	－	10	66	
	腸チフス	－	－	－		－	－	－		－	－	－	
四類	E型肝炎	－	－	－	ウエストナイル熱 黄熱 回帰熱 狂犬病 腎症候性出血熱 炭疽 デング熱 ニパウイルス感染症 ハンタウイルス肺症候群 ブルセラ症 発しんチフス 野兎病 リフトバレー熱 レプトスピラ症	－	－	－	A型肝炎 オウム病 キャサヌル森林病 コクシジオイデス症 西部ウマ脳炎 チクングニア熱 東部ウマ脳炎 日本脳炎 Bウイルス病 ベネズエラウマ脳炎 ボツリヌス症 ライム病 類鼻疽 ロッキー山紅斑熱	－	－	2	
	エキノコックス症	－	－	－		－	－	－		－	－	－	－
	オムスク出血熱	－	－	－		－	－	－		－	－	－	－
	Q熱	－	－	－		－	－	－		－	－	－	－
	サル痘	－	－	－		－	－	－		－	－	－	－
	ダニ媒介脳炎	－	－	－		－	－	－		－	－	－	－
	つつが虫病	－	2	1		－	－	7		－	－	－	－
	鳥インフルエンザ	－	－	－		－	－	－		－	－	－	－
	日本紅斑熱	－	1	－		－	－	－		－	－	－	－
	鼻疽	－	－	－		－	－	－		－	－	－	－
	ヘンドラウイルス感染症	－	－	－		－	－	－		－	－	1	－
	マラリア	－	－	－		－	－	－		－	－	－	－
	リッサウイルス感染症	－	－	－		－	－	－		－	－	－	－
	レジオネラ症	－	4	19		－	－	－		－	－	－	－
	五類	アメーバ赤痢	－	5		13	ウイルス性肝炎*3 クロイツフェルト・ヤコブ病 ジアルジア症 梅毒 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 麻しん	－		3	7	急性脳炎*4 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 髄膜炎菌性髄膜炎 破傷風 風しん	－
クリプトスポリジウム症		－	－	－	－	－		2	－	－	1		
後天性免疫不全症候群		－	3	22	－	1		5	－	－	－		
先天性風しん症候群		－	－	－	－	5		9	－	1	1		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		－	－	－	－	－		3	－	－	2		
麻しん		－	3	3	－	－		－	－	－	－		

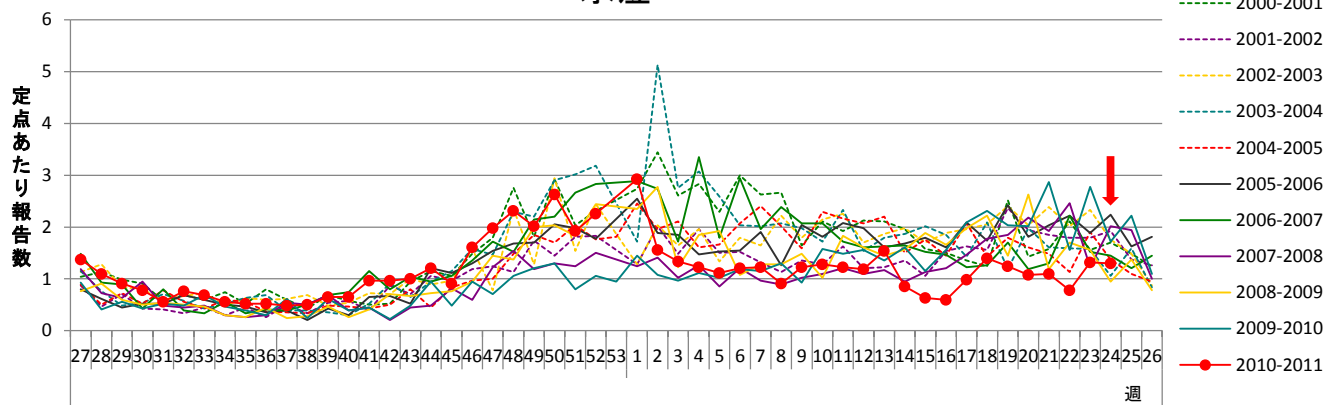
※ 今週は岡山市に報告があった全数把握感染症患者数が計上されているため、結核の累計が大きく変わりました。
岡山市からの報告は、一ヶ月に1回累計されます。



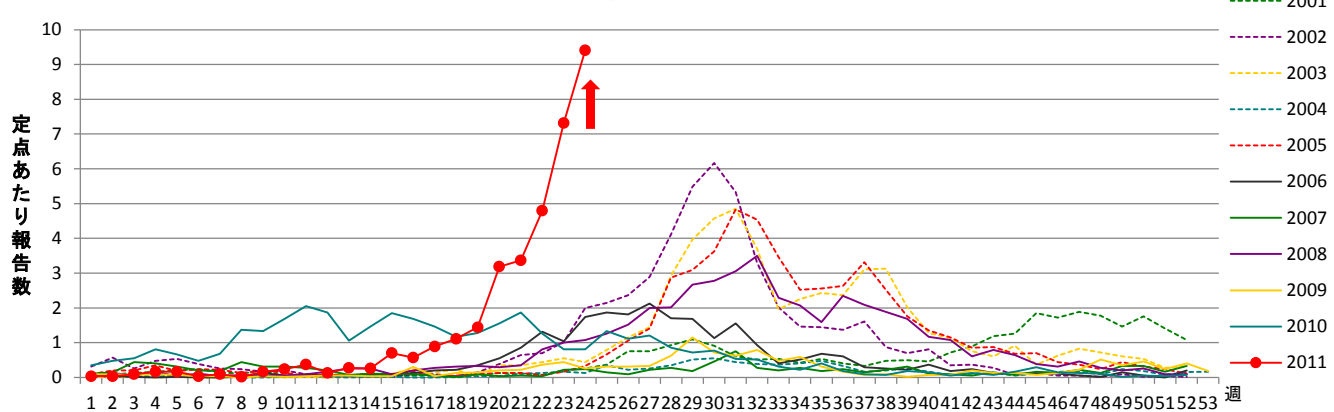
感染性胃腸炎



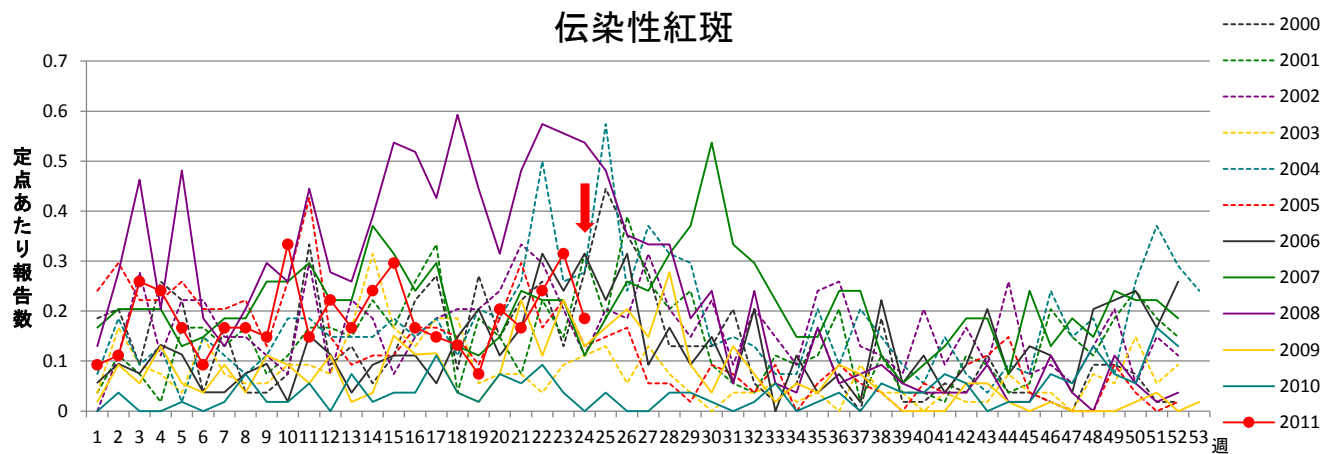
水痘



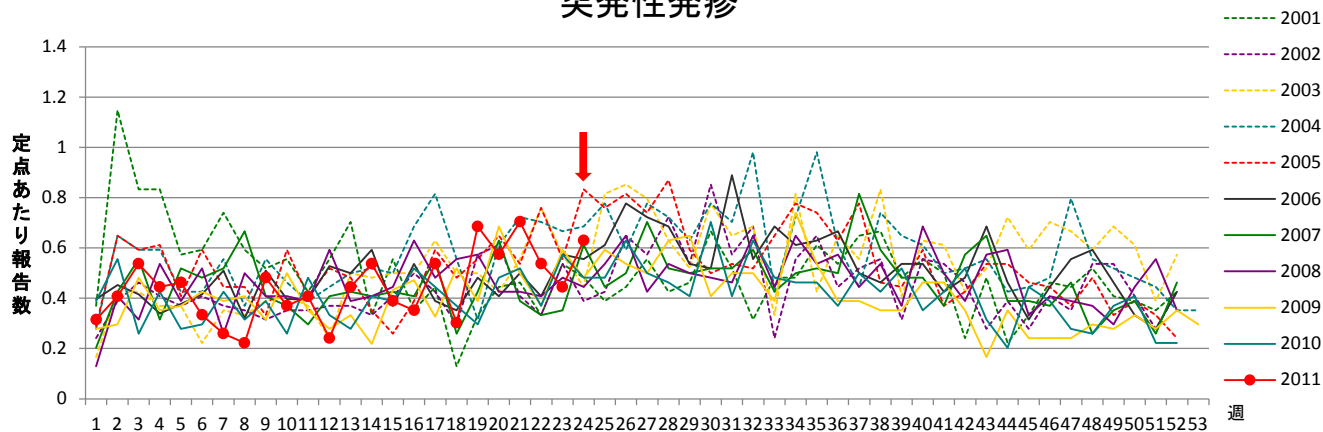
手足口病



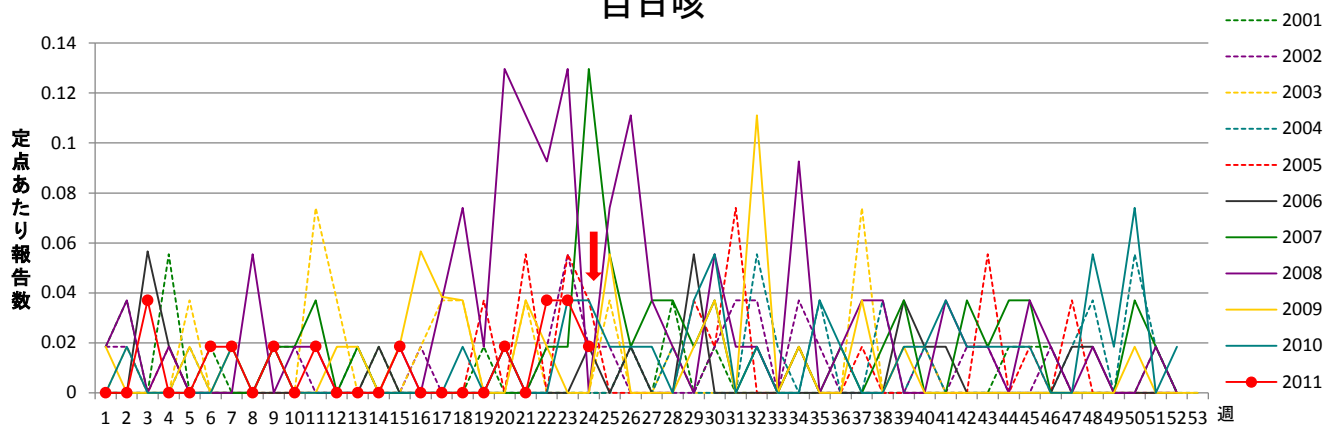
伝染性紅斑



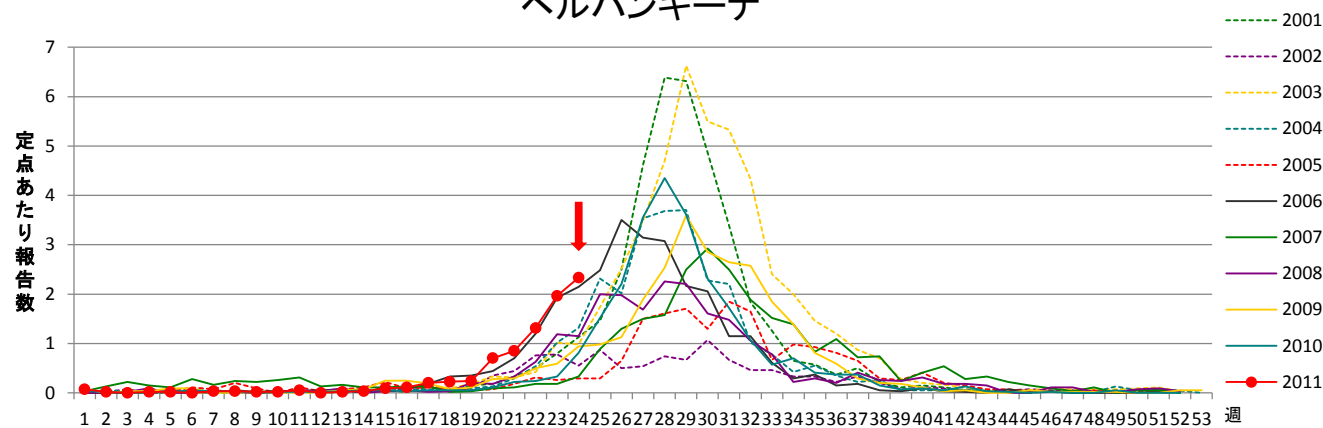
突発性発疹



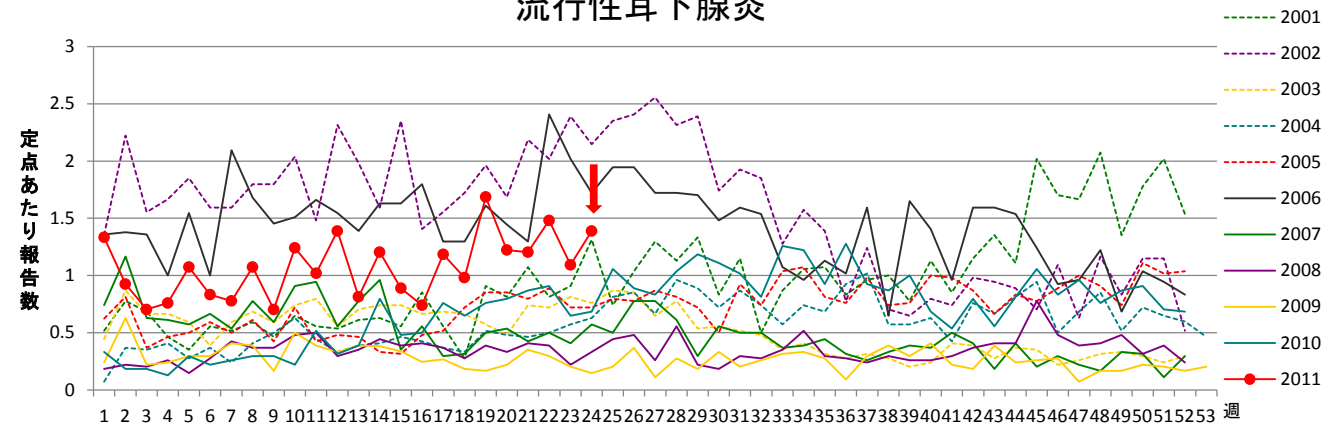
百日咳



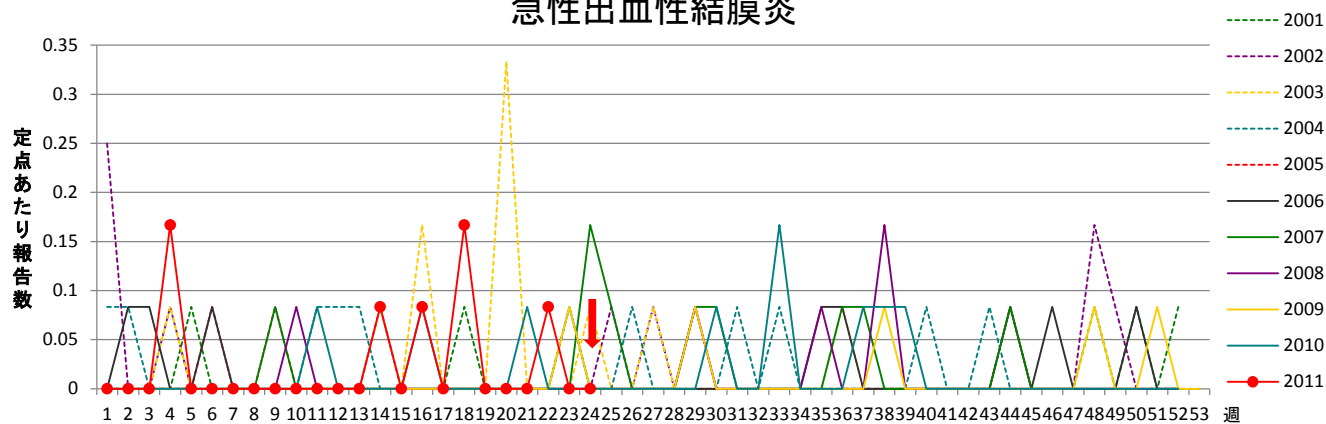
ヘルパンギーナ



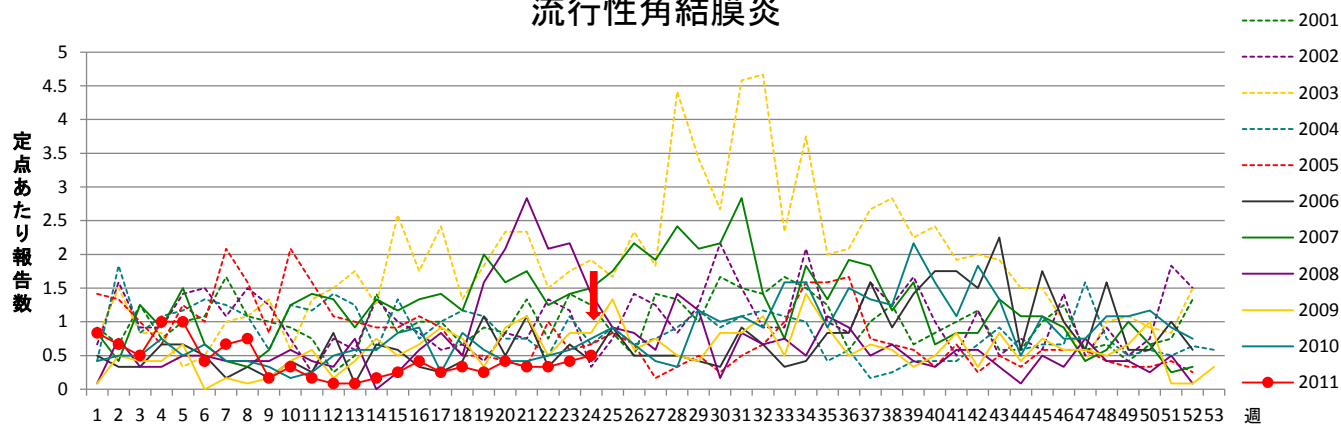
流行性耳下腺炎



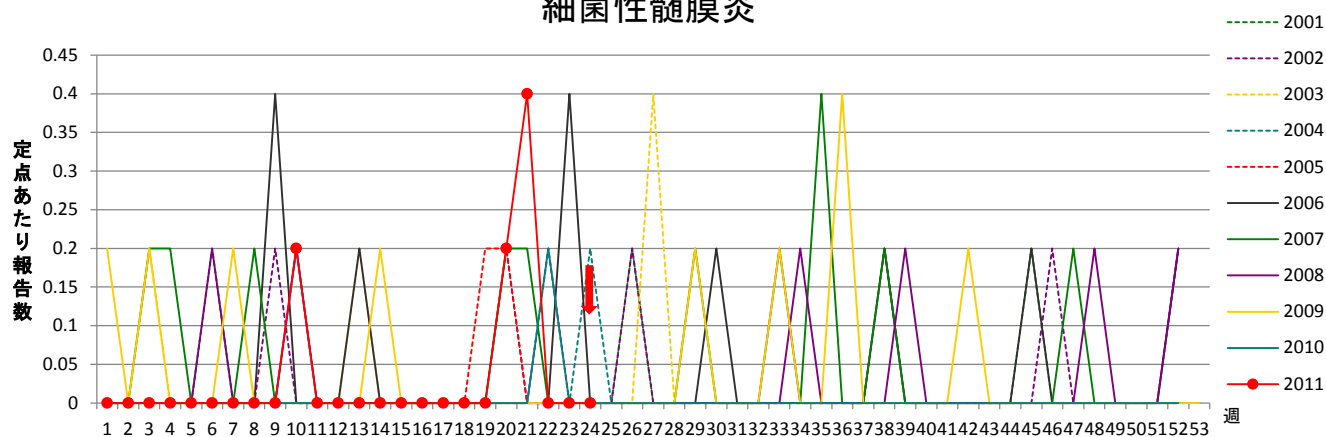
急性出血性結膜炎



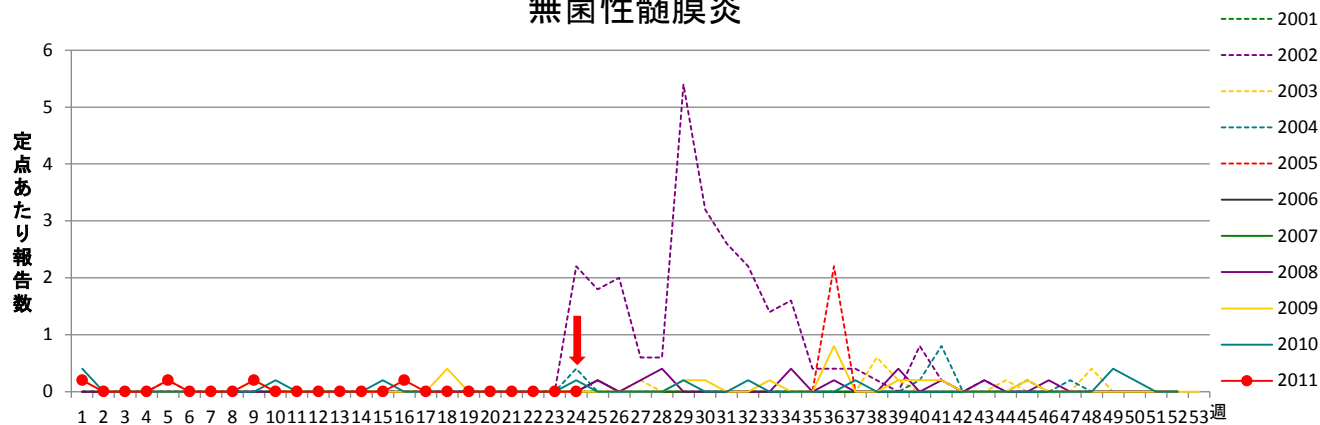
流行性角結膜炎



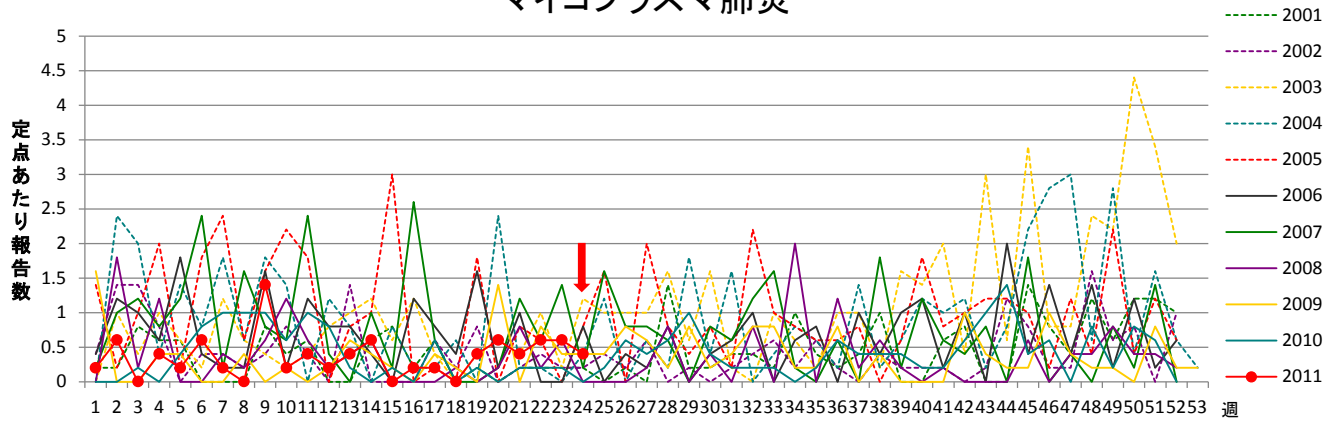
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

